

全国一斉量目立入検査予定

神奈川県及び特定市は、全国一斉量目立入検査を次のとおり予定している。

神奈川県	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市
期間 11月28日～ 2006(平成18) 年1月27日	10月1日～ 12月22日	11月17日～ 06年1月20 日	12月12日～ 06年1月31 日までのうち 6日間	12月1日～ 12月10日 までの2日間
小田原市	茅ヶ崎市	相模原市	厚木市	大和市
期間 12月～ 06年1月	12月上旬の 1日間	12月～06年 1月までの 2日間	12月中旬に 1日間	12月19日～ 06年1月31日 までの2日間

定期検査・計量証明検査予定

今年度から非自動はかり、分銅及びおもりの定期検査及び計量証明検査を指定検査機関(社)神奈川県計量協会が巡回検査として実施。

◇定期検査
▽海老名市・座間市及び綾瀬市 2005(平成17)年7月4日～11月2日

▽秦野市及び伊勢原市 05年9月1日～12月28日

▽三浦市及び逗子市 12月2日

006(平成18)年1月23日～5月22日
◇計量証明検査
▽横浜市 05年11月14日～12月16日
▽川崎市 06年1月16日～1月30日
▽横須賀市及び三浦市 06年2月6日～2月23日
◇甲種検査
▽横浜市及び横須賀市 05年12月1日～12月8日
◇環境計量証明用計量器
▽PH計 06年1月予定
▽騒音計及び振動レベル計 06年3月予定

神奈川県計量検定センターは、事業規程の遵守状況を主体に立入検査を実施した。なお、特定市内の事業者には特定市職員(2市)が同行した。

▽実施期間 9月6日から同27日までの10日間
▽実施区域 横浜市、川崎市、相模原市、厚木市、愛甲郡愛川町
▽検査戸数 10戸
▽不適正戸数 4戸
▽不適理由 登録申請書記載事項変更届の未提出、計量証明用設備の不備及び点検未実施、計量証明書の記載に不備等

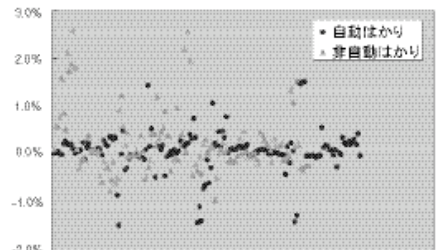
問われる自動はかりのメンテナンス 川崎市、米穀店立入検査報告

今年度の立入検査結果について特異だったのは、量目公差違反が2事業所(6件)とも、自動はかりを使用していた点である。

自動はかりの普及率について、今年度は、高津区・宮前区・多摩区・麻生区の事業所を調査し、結果は51%の保有率であった。一方、昨年度は、川崎区の事業所において27%であった。対象区は相違するが、率にして2倍も増となっている。現在、法的検査がなく、自主的な管理に委ねられているにもかかわらず、はかりの本体を見るかかわらず、はかりの本体を見る部には米ぬかなどが付着し、日頃の手入れがまったくなされてなく、この様な状態では正確

期間	検査事業所数	検査件数	量目公差逸脱件数
8日	35事業所	295件	6件(2.0)

▲川崎市の米穀店立入検査結果 ▼検査対象(295件)の過不足率分布



別掲グラフは、精米5kg・10kgの検査件数(295件)を横軸に、過不足率を縦軸として、自動はかり・非自動はかり毎に過不足率をプロットしたものである。

その結果、自動はかりは非自動はかりに比べ、品質目チェックが必要でなく、安定した数値が出ている。このように、自動はかり使用に際しては、商品量目精度を正す。

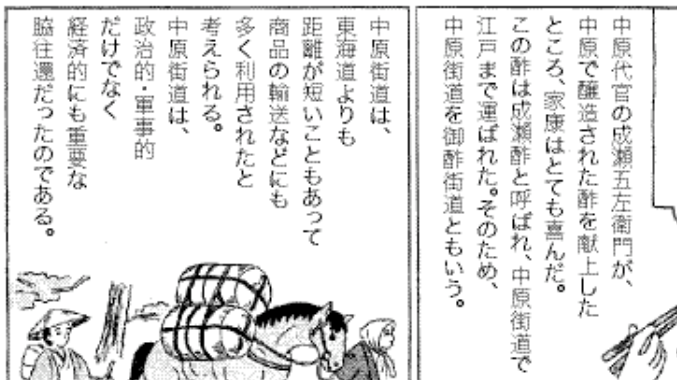
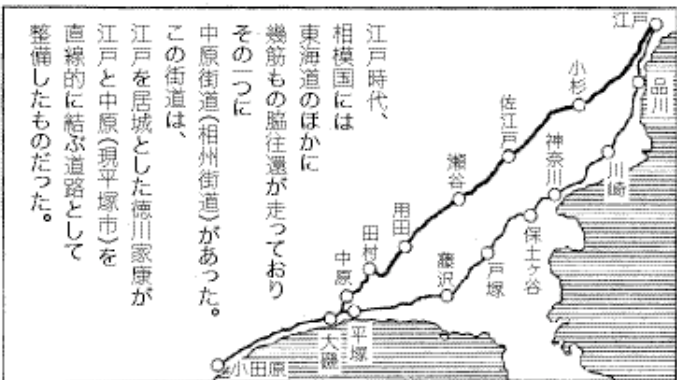
当市では、毎年継続して多量生産する事業所を含め、自動はかり使用事業者への量目立入検査を実施しているが、今後もその必要性を再認識した。

励行、②においては、特定計量器を使用している商品量目チェックが必要である。

銅等での精度チェックの対応では、基準となる分銅等での精度チェックの励行、②においては、特定計量器を使用している商品量目チェックが必要である。

わが街 平塚市 まんが平塚の歴史 中原街道

作・丸島隆雄



中原には、家康が江戸と駿府間を往復するときに宿泊所等で利用した中原御殿やこの地域の支配拠点となる中原代官陣屋が置かれていた。鷹狩などの折に家康はしばしば中原へ来遊している。

中原街道は、東海道よりも距離が短いこともあって商品の輸送などにも多く利用されたと考えられる。中原街道は、政治的・軍事的だけでなく経済的にも重要な脇道だったのである。

中原代官の成瀬五左衛門が、中原で醸造された酢を献上したところ、家康はとて喜んで、この酢は成瀬酢と呼ばれ、中原街道で江戸まで運ばれた。そのため、中原街道を御酢街道ともいう。

この酢は非常に美味である。料理に漬けて料理を食べた！

中原街道は、東海道よりも距離が短いこともあって商品の輸送などにも多く利用されたと考えられる。中原街道は、政治的・軍事的だけでなく経済的にも重要な脇道だったのである。

神奈川県計量協会 諸事業などのお知らせは、ウェブサイトからもご覧になれます。 URL: <http://www11.ocn.ne.jp/~keiryu-k/>

県が環境計量証明用計量器検査実施 神奈川県は環境計量証明用計量器検査実施

大和市が立入検査を実施 大和市が立入検査を実施

工業用計量機のメンテナンス 大和のハカリ

南武ヤマトハカリ 南武ヤマトハカリ 南武ヤマトハカリ

登録と指定 登録と指定

お知らせ この特集は神奈川県計量協会の会報に代わるものとして、日本計量新報社の協力を得て隔月発行し、全会員に配布しています。

お問い合わせ 045-401-4420 (お面につく)

大和製衡川西勝三社長 馬術競技で国体入賞

大和製衡(株) (明石市茶園町5-22)の川西勝三社長(62)が、10月に岡山県で行われた第60回国民体育大会(晴れの国おかやま国体)の馬術競技に出場した。成年男子のセントジョージ賞典馬場馬術競技で7位入賞を果たした。川西社長は過去に岐阜国体に出場しており、今大会における全種目を通しての最高齢者のみならず、40年ぶりの国体再出場で入賞という。

快挙を達成した。

川西社長は1943

(昭和18)年生まれ。甲

南大学在学中は馬術に熱

中し、65年には岐阜国体

で2位、全日本学生馬術

個人選手権で優勝した。

その体験から、高い目標

を持ち、それに向かって

論理的に状況分析し、ひ

とつとつ課題を解決し

て達成するという人生哲

学を得た。この考えは同

社の経営理念にも表れて

いる。



還暦を迎え、
「胸にロマンを
抱く万青年で
ありたい」とい
う川西社長の思
いが、馬術の



を重ね、40年ぶりの国体
出場が実現した。
川西社長は自分の生き
ざまを通して、社員にも
仕事上あるいは人生で
チャレンジする
風土を根付かせ
たい意識から、
果敢を覚悟で有言
実行している、
入賞三実社と
7位西と語った。

新製品ニュース

A&D 水銀式血圧計の使用感そのまま 環境にやさしい電子血圧計登場

(株)イー・アンド・デイ

(東京都豊島区東池袋3

1-23-14、電話03-

5391-6126、古

川陽社長はスワンハー

ト血圧計「UM-10

1」を12月22日に発売す

る。

医療機関で使われる血

圧計の多くは、医師や看

護師が使い慣れている水

銀式だが、同器は外観、

表示、操作方法是水銀式

のまま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

のま、表示を水銀から

費生活展が開催された。

日間午前・午後行い(参

加者797名)それぞれ

にヒタリ賞(バナナ・パ

イナップル・キウイ7キ

ロ前後、前後賞に協賛事

業者から提供された賞品

が用意された。発表時に

は人垣ができたなど、た

いへん盛況となった。

平塚市

計量イベント開催

9月17日(土)、18日(日)に

平塚市内のハイパーマ

ケットOSC湘南シティ

(オリピック)で市主

催の「第34回みんなの消



費生活展が開催された。

ハカルものならなんでもOK

岩下度量衡株式会社

本社〒101-0047東京都千代田区内神田2-14-12 ☎03-3254-6891

旭川計量機創立50年 計量メーカートップが駆けつけ祝う



祝賀会の鏡開き

計量器の販売、修理等
を手がける旭川計量機(株)
(北海道旭川市流通団地
2条4-8、茶木拓治社

長)が、創立50年を迎え

た。計量記念日の11月1

日、旭川市の旭川グラン

ドホテルで記念式典と祝

賀会が開かれた。道内の

計量関係者のほか、全国

から計量機器メーカーの

代表など、100名が集

まる盛会となった。出席

者に創立50年の歩みを記

した小冊子が配られた。

廃棄の手間が解消した。

本体の側面にすべり防

止のラバーを使用、裏面

には取っ手部をつけ、持

ち運びやすくしている。

新たな機能として、測定

中に5点まで記録できる

ホルド機能、血圧測定

時に脈拍数を自動的に測

液晶に切り替えた。水銀

不使用で取り扱いが手軽

になり、メンテナンスや

物を実施した。

う「暮らしの情報」とい

うタイトルの同展に「計

量コーナー」として出展

した。消費者が幅広い情

報を収集できる場とし

て、消費者をめぐるさま

ざまな問題について、実

物やパネルによってわか

りやすく紹介した。会場

川崎市計量協 会、講演会開催

10月5日(水)、川崎市産

業振興会館で、川崎市と

川崎市計量協会計量管理

専門部会の共催による計

量コーナー」を出展、催

量コーナー」を出展、催



同社は1955(昭和
30)年、旭川市の繁華街
に旭川度量衡器(株)とし
て、計量器の販売・修理
を専門に開業した。73年
に社名を現在の旭川計量
機(株)に変更した。製造分
野にも進出し、80年に計
量器製造事業登録、96年
には型式承認を取得して
いる。また82年には、同
市の旭山動物園に5トン
まで量れる動物用計量器
を寄贈するなど、地域貢
献も忘れない。同社は時
代の変遷とともに地元
根付いて発展している。
現在は旭川のほか札
幌、帯広に拠点を持ち、
6名の計量士が計量器検
査及び代検査業務に従事
する。販売、修理だけで
なく、加工用じやがいも
のでん粉測定装置や魚介
類、農産物受入用トラッ
クスケールコンピュータ
システムなど、顧客の用
途に応じた計量器システ
ムの設計・製作も行って
いる。

川崎市計量協会、 ミットヨ訪問

10月13日(木)、川崎市計

量協会企画・総務委員会

の事業の一環として、鈴

木委員長以下21名で(株)

ミットヨ本社を訪問した。

(株)ミットヨ荒田総務・

業務グループ次長からス

ライドによる社の企業理

念の説明を受けた後、製

品開発・組み立ての現場

見学、(株)ミットヨの歴史

が見学、最後に質疑時間を

とり、質疑応答がされた。